

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた心肺蘇生法の注意点

1. 『反応の確認』の注意点

確認や観察の際に、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする。

2. 『胸骨圧迫』の注意点

エアロゾル(傷病者の口腔から出る微細な粒子)の飛散を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にかぶせる。マスクや衣類でも代用することは可能。

3. 『胸骨圧迫と人工呼吸』の注意点

成人に対しては、人工呼吸を行う意思があっても、人工呼吸は実施せずに胸骨圧迫だけを続ける。

子供に対しては、人工呼吸を行う意思がある場合には、胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせる。

その際、手元に人工呼吸用の感染防護具があれば使用する。

感染の危険などを考えて人工呼吸を行うことにためらいがある場合には、胸骨圧迫だけを続ける。

4. 『心肺蘇生実施後』の注意点

救急隊の到着後に、傷病者を救急隊に引き継いだ後は速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄するのが望ましい。